

市民・事業者・行政との協働の取組

◆廃棄物減量指導員制度

廃棄物減量指導員は、町内会、自治会等の住民組織団体から推薦を受け、市長が委嘱し、市と市民のパイプ役として地域で幅広く活動しているボランティアリーダーです。廃棄物減量指導員は「ごみ減量の普及啓発」、「リサイクル活動実践指導」、「排出方法順守指導」等の活動を通して、ごみの減量・リサイクルの推進に貢献していただいております。514団体から推薦を受けた1,641名が活動しています。（令和8年6月現在）



廃棄物減量指導員活動ハンドブック

◆「ごみゼロカフェ」の開催

ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、様々な年代の市民や事業者等多様な主体がごみ減量について意見交換する「ごみゼロカフェ」を開催しています。

令和7年度は、「プラごみゼロでつくろう！明日のかわさき」「ファッションから考える地球にやさしい暮らし」「ノクティ見学ツアー＆カプセルアート体験」をテーマに3回合計43人の市民がごみ減量のアイデアを出し合いました。



ごみゼロカフェ

◆かわさきプラスチック循環プロジェクト

プラスチック循環に関わるあらゆる主体が集まるプラットフォームとして、市民、事業者、行政が実施している様々なプラスチック循環の取組や拠点回収などの取組を連携しながら推進しています。



ペットボトル回収機



マヨネーズボトル
拠点回収

◆民間事業者と連携した不要品リユース事業

ごみの減量化に向け、民間事業者が運営するリユースプラットフォームサービス「おいくら」「ジモティー」に関する情報を市HPに掲載し、不要品のリユースを推進しています。

また、官民連携のリユース拠点「ジモティースポット」において、市民からリユース可能な不要品を受け取って、必要とされる方へ有償（一部無償）にて引き渡す取組を実施しています。



ジモティースポット川崎管生

◆食品ロス削減協力店

飲食店による食べきりや食品小売店による売りきりの推進など、食品ロスの削減に取り組む店舗を登録し、市ホームページ等で紹介しています。

【登録店舗数】 687 店舗（令和8年4月現在）

◆フードドライブの実施

各家庭で使いきれない未利用食品を回収し、フードバンク団体等を通じて食料を必要としている世帯等へ届けています。

【常時回収場所】 環境局減量推進課（本庁舎20階）、川崎市地球温暖化防止活動推進センター、ヨネッティー王禅寺、各生活環境事業所（令和8年4月現在）

市民によるごみ減量・リサイクル活動の推進

◆資源集団回収推進事業（新聞紙・雑誌・段ボール等の回収）

ごみの減量とリサイクル促進のため、資源集団回収を実施する町内会等の登録団体に対し回収量1kgあたり3円の奨励金、登録業者に対し回収量1kgあたり紙類は古紙市況に連動した額を、布類・びん類は1円の報償金をそれぞれ交付しています。また、資源集団回収活動の拡大や未実施地域への実施要請等の普及啓発活動も実施しています。

【令和7年度回収実績】 29,651t